

1858年

原点

三方よし

当社は、近江商人の初代伊藤忠兵衛が、麻布^{まふ}の行商(持ち下り)を開始した1858(安政5)年に創業しました。

初代伊藤忠兵衛の座右の銘「商売は菩薩の業、商売道の尊さは、売り買い何れをも益し、世の不足をうずめ、御仏の心にかなうもの」をルーツとする「三方よし(売り手よし、買い手よし、世間よし)」。現代にも通用するその精神性は、当社のDNA及び「伊藤忠流」のサステナビリティとして今でも受け継がれています。

1915(大正4)年に新築された本店(大阪市)
エレベーターなど近代的設備を完備した、当時としては珍しい大規模な建築

受け継がれてきた

受け継がれてきた経営者の櫛



初代 伊藤 忠兵衛



二代 伊藤 忠兵衛



伊藤 竹之助



小菅 宇一郎



越後 正一

社長在任期間
(1949年 伊藤忠商事㈱設立以降)

1949年～1960年

1960年～1974年

現在

ひとりの商人、無数の使命

コーポレートメッセージ「ひとりの商人、無数の使命」は、企業理念である「豊かさを担う責任」に込めた意図をわかりやすく示した言葉です。

商いの先に広がる豊かさを提供し続けるという社会への約束、そして更なる挑戦に向けて全社員が共有すべき価値観を表現するために、豊かな個性を持った人々、自由闊達な風土、「個の力」など様々な「伊藤忠らしさ」を込めています。

伊藤忠商事は、常に「商人魂」を原点に据えながら、売り手にも、買い手にも、世間にも、より善い商いをめざし、社会に対しての責任「無数の使命」を果たして参ります。

理念

伊藤忠商事の159年間は、「商人魂」や「三方よし」の経営哲学を先人が継承し、実践してきたからこそ刻むことができた歴史といえます。これからも、あらゆるステークホルダーにとっての「無数の使命」を果たし、持続的に企業価値の拡大を実現していきます。



戸崎 誠喜

1974年～1983年



米倉 功

1983年～1990年



室伏 稔

1990年～1998年



丹羽 宇一郎

1998年～2004年



小林 栄三

2004年～2010年



岡藤 正広

2010年～